

Z世代を「食と農の応援団」に！

食や環境に関心を持つ学生を対象に「食と農の現場を実際に見聞することで理解を深め、就農機会の選択肢を創出すること」を目的とした勉強会及び生産現場でフィールドワークを実施した。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

東京都拠点では大学連携の取組を行っている。令和7年度は「食や環境に対して関心を持つ学生」を対象に、農業や環境などの問題意識や施策への理解を高めるとともに、学生の視点から新たな提案をもらうことを目的として、「未来へつなぐ食のバトン」勉強会及び生産現場でのフィールドワークを行った。

○ 取組の内容

8月に開催した勉強会では、関東農政局（本局）みどりチーム担当者が「食と環境を未来へつなぐために私たちにできることは」をテーマにみどり戦略の取組等について講義を行った。その後、局内の若手職員がファシリテーターとなって学生によるグループ討論、発表を行った。勉強会を実施後、夏季休暇の学生が多い9月に都内の生産者（果樹、施設園芸）を講師としたフィールドワークを実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

学生から「参加者同士で意見交換をする中で、自分にはなかった価値観や考え方を知ることができ、多角的な視野を持つきっかけになった」などの意見が寄せられた。次年度はより多くの学生に参加してもらえるよう、大学との連携を強化し、将来的には学生たちに「食と農の応援団」となってもらうことを狙いとしている。

「みどりの食料システム戦略」の講義を受けている様子



グループ討論の様子

都内の梨畑において、生産者から説明を受けているフィールドワーク

